

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。

今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から13年いカ月となった4月11日（木）の「第136回行動」の報告と、5月11日（土）に予定する「第137回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

ウクライナ・パレスチナ戦禍のなかで明らかになっていること 原発は攻撃されれば原爆そのもの 70人で第136回「原発ゼロ」調布行動

今回の司会・進行は「学習サークル・アネモネ会」のみなさん。司会は知識明子さん、スピーチ調整は大本久美さん、記録は秋山秀子さんと大松由紀子さん、大橋美知子さん、音響装置とハンドマイク準備は鈴木勝雄さん、写真記録はむらき数子さんと鈴木彰。

今日も中央口前の広場にマイクを据えましたが、70人のみなさんが参加して「原発なくそう」の声をちからいっぱいあげました。



◆ 司会：知識明子さん 昨年ドイツは原発ゼロに踏み切った。決して実現不可能ではない。声を上げていくことは大事。

原発反対の声を繋いで原発に頼らない日本をめざしましょう。

◆ ♪ 東北人 「花」

「ふるさとは今も変わらず」新沼謙治が故郷の復興の願いを思って作った歌

◆ 河野良彦さん(布田) 原発の寿命を60年に延ばしたことに心配が尽きない。私は機械工学が専門だったが、原子炉の部品、炉の部分を劣化しているか毎年検査している。鉄は長くなると劣化する。安全基準が不確かなまま、一気に60年延長してよいものかと考えてしまう。炉を繋ぐノズルが運搬途中でずれてしまう。ゆるみは修正せず、応急処置で放置されている。皆の声で運転を止めていきたい。

◆ 司会 人間の予想を超える事が起きることを考えなくてはならない。



◆ 堀北理枝子さん(富士見町) 原発は人間が制御できるものではないことを自覚しなければならぬ。能登、台湾と大きな地震が続いた。台湾では数時間後に冷暖房つき、ベッドつきの避難所が開設された。日本との大きな違いは何か。日本の場合、コロナの時もそうだ

ったが一人一人にかけるお金が少ない。この日本政府の姿勢が問われている。お金のかけ方を変えるに政治するには選挙しかない。

◆ 松本加代子さん（佐須） 今朝テレビを見て思ったことを伝えたい。先日原水協の総会があったのだけど、被害の実態を多くの人に如何に伝えるかが重要なことだという話になった。原発も同じことがいえる。

浪江で育った女子高校生が仙台に避難し、昔、浪江で楽しく生活していたことを忘れないために、「田植え踊り」を伝えていきたいと報道していた。調布でも現地に行って福島がどうなっているか伝えようとしたり、様々な企画を続けたりする人びとがいる。このことが大事だと思う。

◆ 小野和子さん（染地） 政府は利権を守るために、原発再稼働を言い出し許せない。東海第2原発はとても危険な状況で、地震が多い今心配が絶えない。運転は止めるべき。

珠洲原発は止めさせた、声をあげていくことだと思う。4回も放出された汚染水、処理水と言って流しているのは許せない。反対の動きをもっと報道すべきだ。

子どもを守るための全ての戦争に反対し、そのための政治を作るよう行動していこう。



◆ ♪ 「いとしごよ」

「ラブ&ピース」 未来の子どもたちへ 佐賀玄海原発 風船は奈良まで

◆ 司会 子どもたちの未来へ繋いでいきたい。

◆ 三宅征子さん（柴崎） 二つの裁判について報告。子ども脱被ばく裁判は高裁では敗訴となった。5月に最高裁の判決が出る。3.11 子ども甲状腺がん裁判は3月に第9回口頭弁論が行われ、6月に第10回口頭弁論が行われる。300人が発症し、7人が裁判に訴えている。市民が声をあげることが裁判を支えていくことになる。「たづくりまつり」5月31日2時から映像シアターで「チェルノブイリ法日本版の会」の柳原さんの講演に是非参加を。

◆ 大松由紀子さん（柴崎） 映像を見る事で考えること行動を起こしていくことの力にしよう、毎月映画会を継続させている。二つの上映会を紹介したい。

・4月20日1時半～「シカとスズ」（2014年）仙川南ビル（原発を考える上映会）

・6月1日16時半～「サイレント フォールアウト」1950年～60年に米国ネバダ州で実施された核実験による放射能汚染を追ったドキュメンタリー映画。（たづくりまつり上映会）

◆ 佐橋正文さん（西つつじヶ丘） ウクライナのサボリージャ原発が攻撃された。原発は原爆だ、ウクライナ戦争は2年になる。早くやめさせなければ。ウクライナの被害だけではなく世界中に被害が広がる。私たちも声をあげて日本の原発をゼロにしていこう。

◆ 大本久美さん（染地） 原発を生み出したオッペンハイマーの伝記映画が調布で上映されている。是非みてほしい。

◆ ♪ ふるさと 皆で合唱して終了





第137回「原発ゼロ」調布行動

日時：2024年5月11日(土)

10時半～11時半 於：調布駅前

今回は5月11日(土)。福島原発事故から13年2カ月目、「調布行動」としては第137回目の行動です。企画・進行・司会は、年金者組合のみなさんです。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*コロナ・インフルエンザ・ノロなどなど、危険なウイルスへの対策も油断はできません。(体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を)。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、5月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはどうぞ名乗り出て、輪番に加わってください。

137～138回(5～6月)	年金者組合
139～140回(7～8月)	新婦人
141～142回(9～10月)	@ちょうふ
143～144回(11～12月)	調布合唱団有志
145～146回(25年1～2月)	アネモネ会

以上